

平成26年 8月 5日 (火)

四国地方整備局 なかがわ 那賀川河川事務所

くわのがわ
平成26年8月台風12号による桑野川の出水状況について (速報)

～堤防整備 (引堤) や掘削により65cm水位を低下させ浸水被害を軽減～

くわのがわ
◇桑野川流域では、激しい豪雨に見舞われ、特に、阿南市新野町久田の谷口雨量観測所における8月3日0時までの累計雨量は506mmを記録しました。この豪雨による、おおばら大原地点におけるピーク流量は約790m³/sと推定しています。

◇この豪雨により、くわのがわ桑野川は、避難判断水位を超える出水となり、くわのがわ桑野川沿川を中心に内水等による80戸の浸水被害が発生しましたが、家屋、道路等の浸水被害軽減に向けて、くわのがわ桑野川沿川に設置している大津田排水機場などのポンプを運転するとともに排水ポンプ車4台を出動し、排水作業を行い内水被害の軽減に努めました。

◇また、くわのがわ桑野川では、これまでの堤防整備 (引堤) や掘削により流下能力の増大を図り、過去の同様な規模の洪水と比べて、水位を65cm下げる事が可能となり、堤防からの漏水を防ぐとともに浸水被害を軽減させることができました。

※本資料は、8月3日0時時点でとりまとめた資料です。

※本資料における数値は、現時点の速報値であり、今後修正される可能性があります。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 なかがわ 那賀川河川事務所

電話 (0884) 22-6461

副 所 長 長尾 純二 (内線 204)

◎調査課長 藤本 雅信 (内線 351)

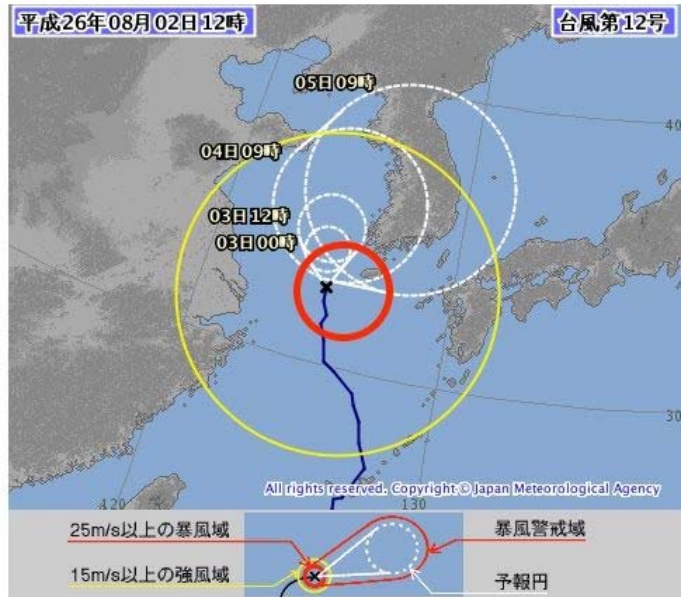
◎主な問い合わせ

気象の概要

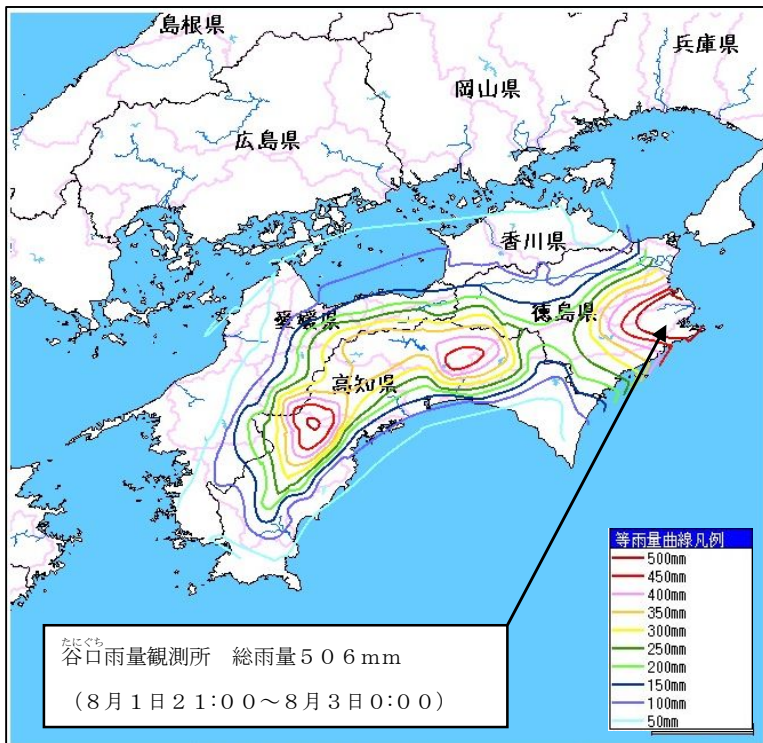
台風12号は、大型の勢力を保ったまま8月1日から2日にかけて、東シナ海上を北上し、8月2日正午頃に九州付近に最接近しました。

徳島県では、この台風を取り巻く雨雲により、2日から3日朝にかけて沿岸部を中心に大雨となり、大原雨量観測所では、降り始め（8月1日21時20分）から8月3日0時までの期間で累計雨量が610mm（速報値）、谷口雨量観測所では、降り始め（8月1日21時20分）から8月3日0時までの期間で累計雨量が506mm（速報値）を観測しました。

■ 台風経路図（徳島地方气象台提供）



■ 等雨量線図〔総雨量〕



ながいげばし くわのがわ
▲ 長生橋（桑野川河口から9 km付近）
（平成26年8月2日15時10分頃）
水位5.54mの時の大原地点
平常時の水位から約4m上昇

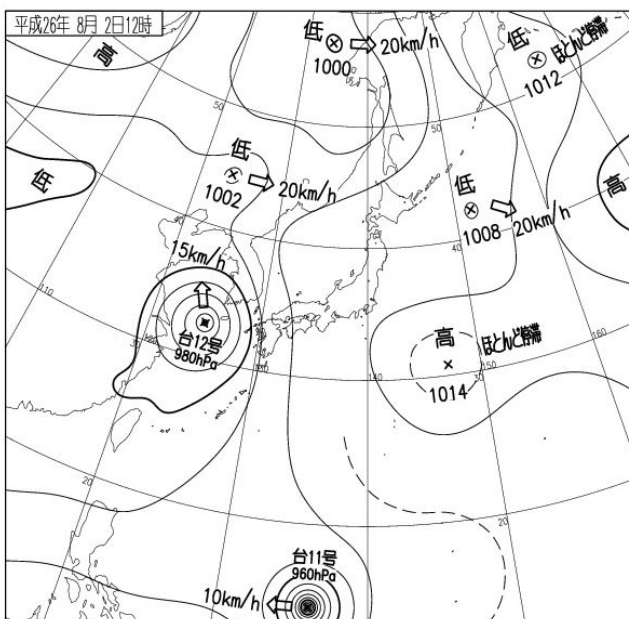


ながいげばし
▲ 平常時の長生橋付近

■出水経過一覧

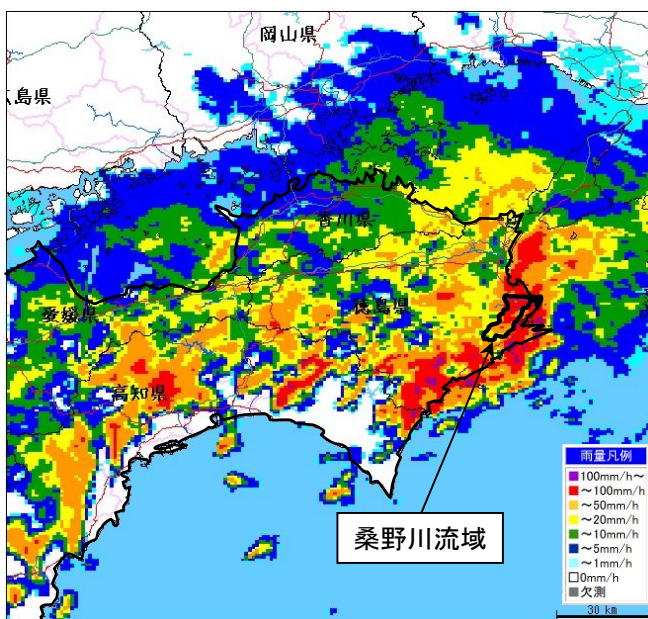
- 8月 2日 4時55分 大雨洪水警報（阿南市）発表（気象庁）
- 5時20分 ^{なかがわ}那賀川河川事務所 注意体制
- 7時30分 水防団待機水位3.40m超過 ^{おおばら}〔大原水位観測所〕
- 10時30分 水防警報 ^{くわのがわ}（桑野川・準備）発令
- 11時40分 はん濫注意水位4.15m超過 ^{おおばら}〔大原水位観測所〕
^{なかがわ}那賀川河川事務所 警戒体制
- 11時50分 水防警報 ^{くわのがわ}（桑野川・出動）発令
- 14時00分 避難判断水位5.40m超過 ^{おおばら}〔大原水位観測所〕
- 14時10分 ^{くわのがわ}桑野川はん濫警戒情報発令
- 15時10分 最高水位（5.54m）到達 ^{おおばら}〔大原水位観測所〕
- 21時50分 はん濫注意水位4.15m下回る ^{おおばら}〔大原水位観測所〕
- 22時00分 ^{くわのがわ}桑野川はん濫注意情報解除
- 23時20分 水防警報 ^{くわのがわ}（桑野川・解除）発令

■天気図（徳島地方気象台提供）



▲平成26年8月2日12:00

■レーダ雨量実況図（国土交通省）



▲平成26年8月2日13:00

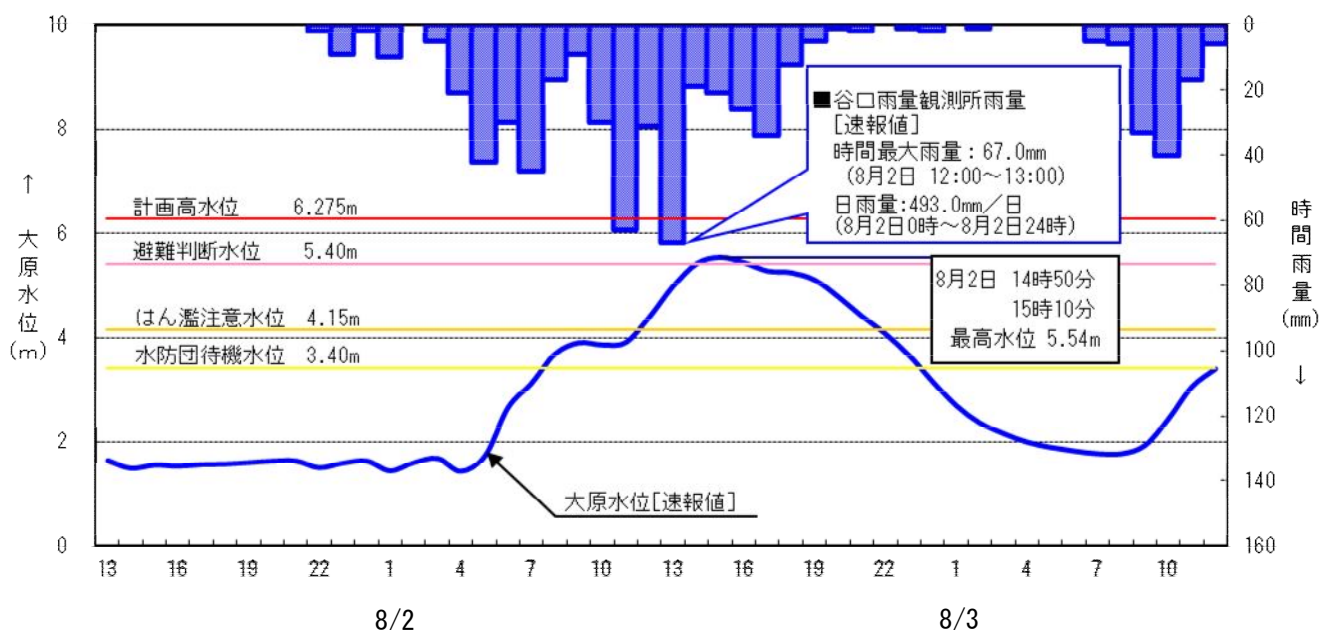
桑野川の出水状況

本出水の総雨量は、大原雨量観測所^{おおばら}で8月1日21時20分～8月3日0時の期間で610mm（速報値）と激しい雨を観測し、谷口雨量観測所^{たにくち}においては506mm（速報値）を観測しました。

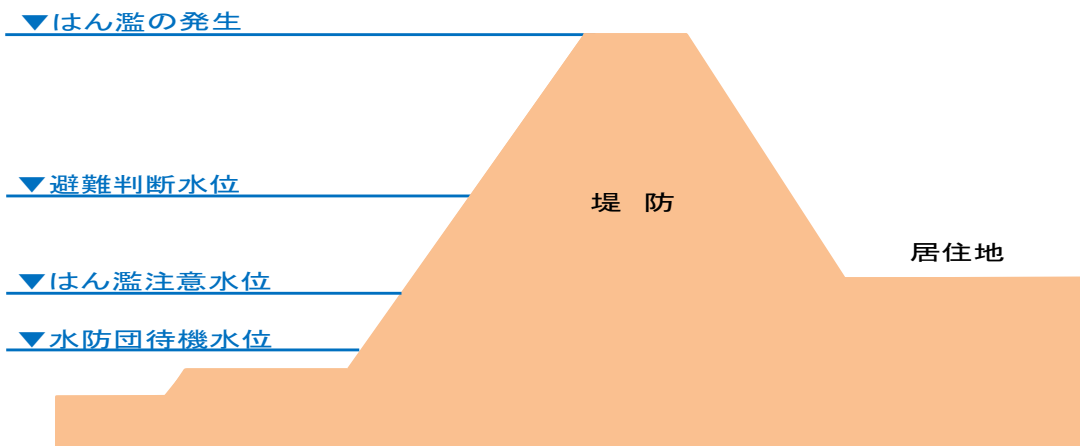
桑野川流域では、豪雨により、阿南市長生町の大原水位観測所（基準地点）^{あなんしながいけ おおばら}において、2日7時30分に水防団待機水位、2日11時40分にはん濫注意水位、2日14時00分に避難判断水位を超え、15時10分には最高水位（5.54m）に到達しました。

また、台風12号のピーク水位は、平成11年6月洪水、平成10年5月洪水、平成10年9月洪水につき観測史上4番目となりました。

■雨量水位グラフ



【参考：各種水位のイメージ】



避難判断水位	避難判断の参考となる水位
はん濫注意水位	はん濫に関する情報に注意する水位 水防団が出動して活動を行う目安となる水位
水防団待機水位	水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位

排水ポンプ設備等稼働状況

台風 12 号出水に伴う河川の水位上昇により、桑野川では内水氾濫による浸水被害を軽減するために、排水ポンプ運転等を行いました。

■排水ポンプ設備等の稼働状況

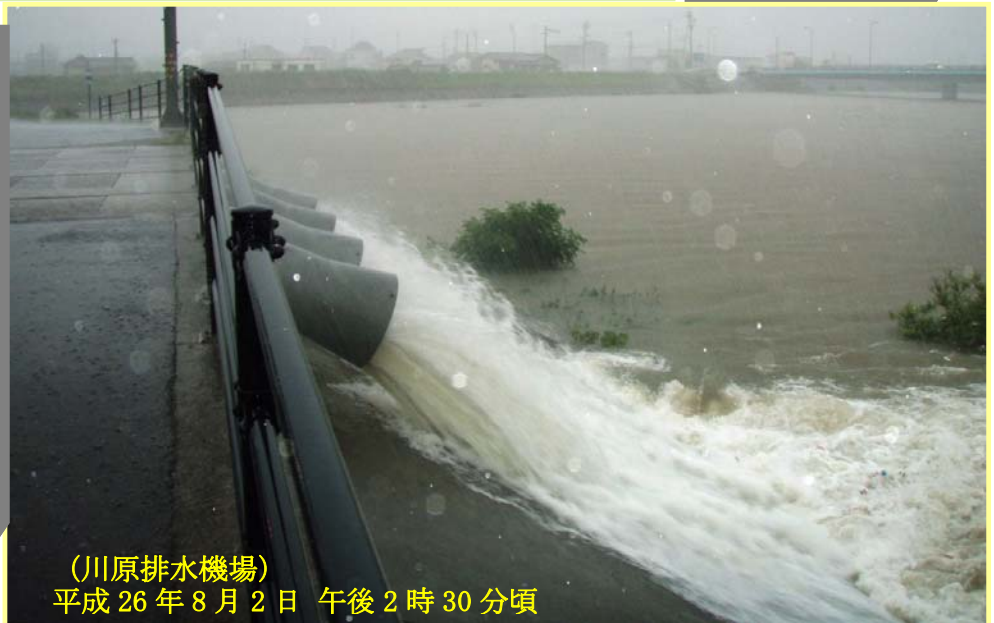


(横見地区三田樋門)
平成 26 年 8 月 2 日 午後 4 時 50 分頃

排水ポンプ車の効果
桑野川左岸に出動した排水ポンプ車 (0.5m³/s) により、^{よこみ}横見地区の浸水被害の軽減を図りました。

排水機場の効果

桑野川左岸の^{かわはら}川原地区に設置された^{かわはら}川原排水機場では、排水ポンプ (5.0m³/s) により、^{かわはら}川原地区の浸水被害の軽減を図りました。

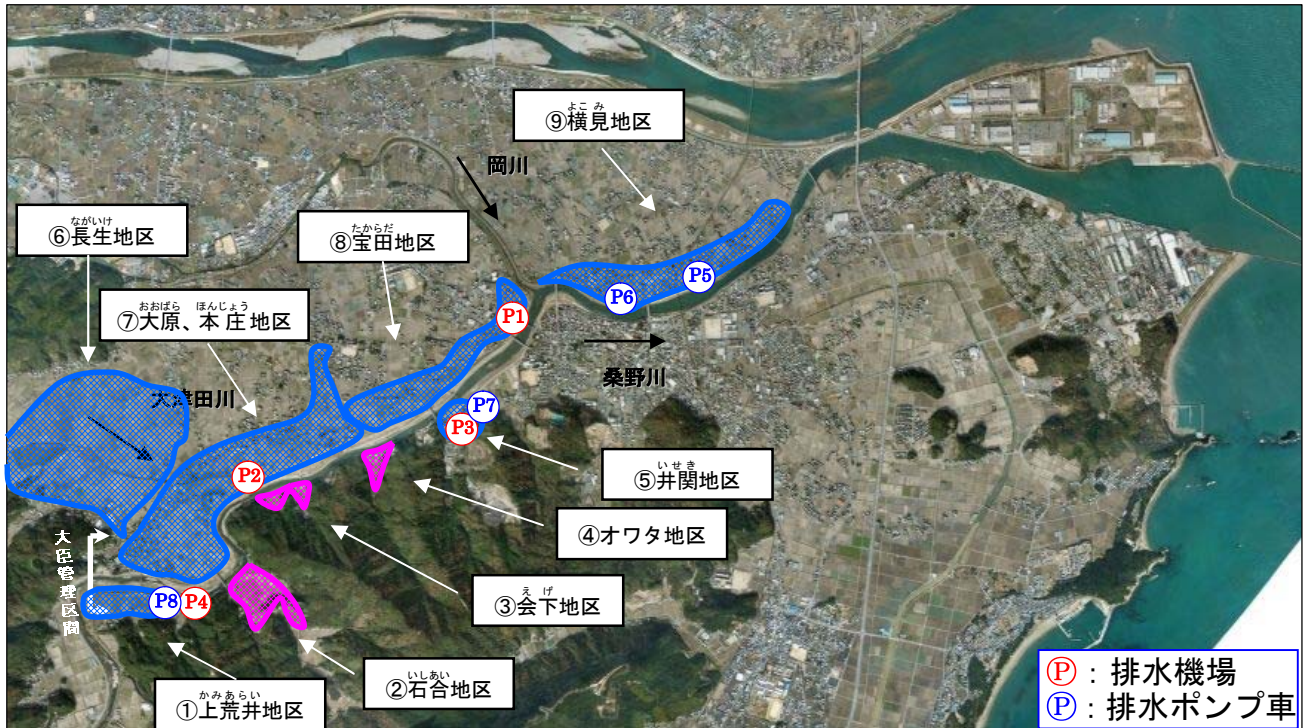


(川原排水機場)
平成 26 年 8 月 2 日 午後 2 時 30 分頃

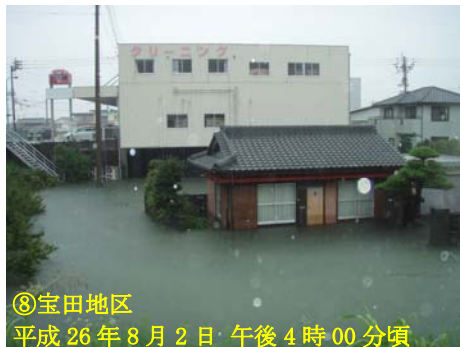
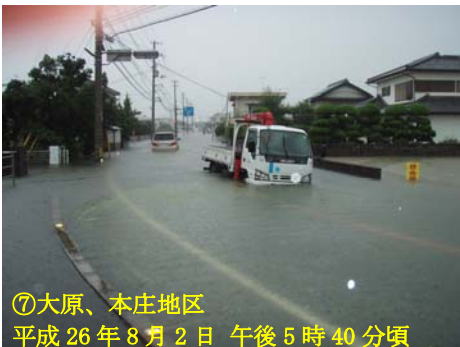
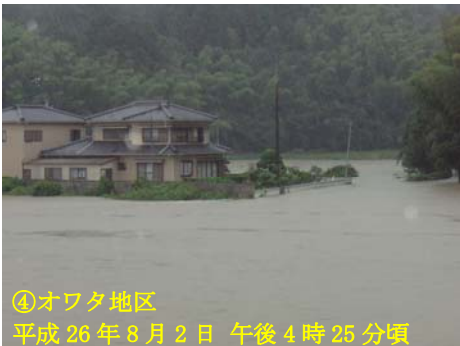
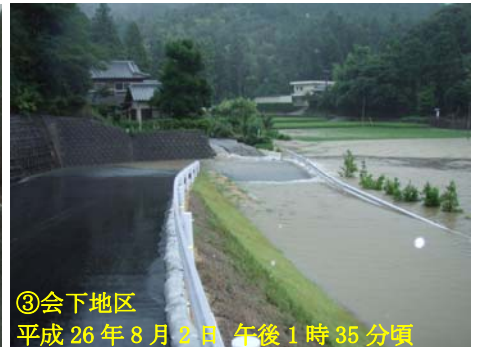
平成 26 年 8 月 3 日 1:00 現在 (ポンプ運転終了)

設備等名称	位置	次頁平面図 位置番号	ポンプ規模	稼働時間 (8月2日~3日)	備考
^{かわはら} 川原排水機場	桑野川左岸 (^{かわはら} 川原地区) 5.2km付近	Ⓐ	5.0m ³ /s	(8/2) 9:32~22:53	約235,000m ³ を排水
^{おおつだ} 大津田排水機場	桑野川左岸 (^{おおつだ} 大津田地区) 7.6km付近	Ⓑ	10.0m ³ /s	(8/2) 7:20~20:07	約397,000m ³ を排水
^{いせき} 井関排水機場	桑野川右岸 (^{いせき} 井関地区) 6.1km付近	Ⓒ	0.3m ³ /s	(8/2) (8/3) 7:25~00:03	約18,000m ³ を排水
^{かみあらい} 上荒井排水機場	桑野川右岸 (^{かみあらい} 上荒井地区) 8.6km付近	Ⓓ	0.6m ³ /s	(8/2) (8/3) 6:46~00:50	約39,000m ³ を排水
排水ポンプ車	桑野川左岸 (^{よこみ} 横見地区前田樋門) 3.6km付近	Ⓔ	0.5m ³ /s	(8/2) 15:00~20:40	約10,000m ³ を排水
排水ポンプ車	桑野川左岸 (^{よこみ} 横見地区三田樋門) 4.2km付近	Ⓕ	0.5m ³ /s	(8/2) 16:45~22:30	約10,000m ³ を排水
排水ポンプ車	桑野川右岸 (^{いせき} 井関排水機場) 6.2km付近	Ⓖ	2.5m ³ /s	(8/2) 19:05~22:20	約29,000m ³ を排水
排水ポンプ車	桑野川右岸 (^{かみあらい} 上荒井排水場) 9km付近	Ⓗ	2.5m ³ /s	(8/2) 21:25~23:20	約17,000m ³ を排水

桑野川の浸水被害の状況

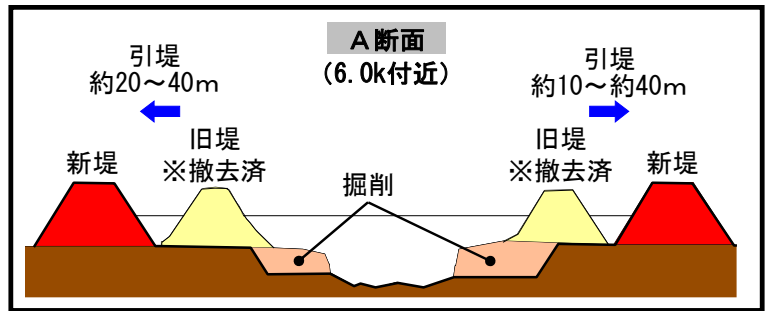
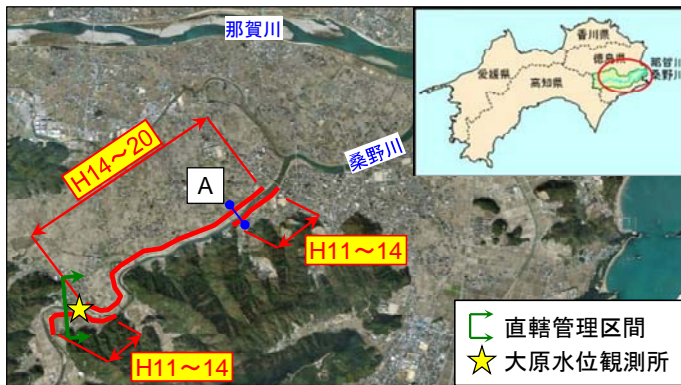


※溢水氾濫と内水氾濫は、推定による速報のため、今後修正される可能性があります。(溢水:桑野川本川の水があふれ出ること)
 ※浸水範囲等被害状況の詳細については、調査中です。



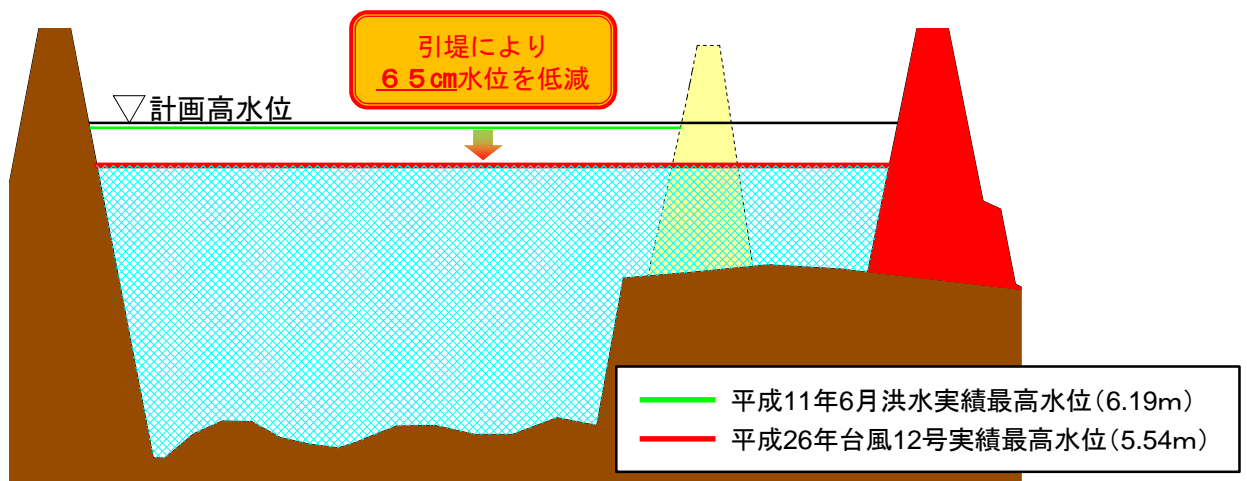
引堤など緊急的な河道改修が効果を発揮

- 台風12号豪雨により、桑野川流域の谷口雨量観測所（阿南市新野町）では、降り始めから8月3日0時までの累加雨量は、506mmを記録しました。
- この豪雨による基準地点大原観測所の流量は、約790m³/sと推定しており、この流量は、計画高水位に迫る6.19mを記録し、桑野川沿川で激甚な浸水被害を発生させた平成11年6月洪水と同規模になっています。
- 桑野川では平成11年6月洪水を契機として、再度災害による浸水被害を軽減させるため、平成11年度から平成20年度において、緊急的な河道改修（引堤、河道掘削）を行い流下能力を向上させました。
- その結果、大原地点の水位を65cm低下させることが可能となり、堤防からの漏水を防ぐとともに、浸水被害を軽減させることができました。（桑野川左岸地区の浸水戸数 H11.6 洪水 254 戸、H26.8 洪水 57 戸 ※H26.8 洪水は8/4時点の阿南市調べの戸数）



川幅を拡幅し、堤防を整備（引堤）

大原観測所地点断面（9.0k付近）



大原地点における水位比較

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。